

施策評価シート (平成24年度の振り返り、総括)

作成日 平成25年 06月 14日

施策 No.	4	施策名	治水対策の推進
主管課名	建設課	電話番号	0285-83-8149
関係課名	都市計画課、区画整理課、環境課、農政課、安全安心課、下水道課、長田区画整理指導室		

施策の対象	・河川と雨水幹線 ・河川流域の住民及び財産								
対象指標名	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	26年度見込
河川数	本				8	8	8	8	8
雨水幹線数	本				20	20	22	23	23
流域面積	平方 km				167.21	167.21	167.21	167.21	167.21

施策の意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備の促進</li> <li>・雨水幹線の整備推進</li> </ul>								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川と雨水幹線の整備率</li> <li>・(河川と雨水幹線整備計画に対する整備率)</li> </ul>								
成果指標名	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	26年度 基本計画目標値
河川改修率	%				83.4	83.4	83.4	83.4	88.2
雨水幹線の整備率	%				88.3	88.3	76.9	77.1	88.9

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	河川と雨水幹線の整備は行政の役割である。
-------------------------	----------------------

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

(1) 施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

雨水幹線整備率は、平成22年度は88.3%、平成23年度は76.9%、平成24年度は77.1%である。

平成23年度の整備率が、前年度に対して11.4%減少した要因は、第一工業団地内の松山町浸水解消事業のため、平成23年3月に雨水計画区域を拡大し、雨水幹線2路線を追加したことから、全体整備計画延長が増加したためです。

平成24年度の整備率が、前年度に対して0.2%増加した要因は、平成25年3月に雨水計画区域を見直し、石島地区五行川幹線1路線を追加し、全体整備計画延長が増加しましたが、第一工業団地内の松山町浸水解消事業の進捗によるためです。

(2) 近隣他市との比較

公共下水道雨水整備率は、53.5%で県内14市中1位、2位は下野市で48.1%、3位は宇都宮市で36.0%、14市平均の整備率は20.4%である。本市は、土地区画整理事業が進んでいるため、整備率が高いと考えられる。

(3) 住民期待水準との比較

市民意向調査によると「雨水のはけ具合が良いと感じている市民の割合」は平成22年度は60.5%、平成23年度は57.9%、平成24年度は63.3%で、前年度と比較して5.4%増加した。

24年度の  
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

・市内を流れる国管理の鬼怒川、小貝川、県管理の江川、行屋川、大久保川、市管理の井頭川及び西川は、整備水準に差異はありますが、現在の計画による整備率は100%である。

・県管理の五行川は、真岡市街地部を約70cm掘り下げる計画があるが、実施時期は未定であり、現在の整備率は48.1%である。

・五行川二宮遊水地は、平成4年度から整備事業に着手し、右岸側A池11haの整備が平成19年度に完了し、現在は左岸側B池29haの整備を実施している。整備率は、A池100%、B池73%で、全体で81%である。

・長田第5排水区の雨水管渠整備を実施している。

・高間木第2排水区で、亀山北第2調整池A池・B池の整備を実施している。

・第1工業団地内の道路冠水解消のため、松山町第1雨水幹線整備を実施している。

・亀山北土地区画整理事業地内で、歩道部の透水性舗装を実施している。

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・五行川の遊水地等の河川整備を促進する。
- ・雨水幹線の整備は継続して実施する。
- ・第1工業団地内の松山町浸水解消事業を推進する。
- ・雨水流出抑制型施設の設置を推進する。
- ・森林、水田の自然保水機能を維持していく。

24年度の  
評価結果

補足事項

○成果指標算出根拠

\* 河川

	整備計画延長	整備延長	改修率
・平成24年度	63.4 km	52.9 km	83.4%

\* 雨水幹線

	整備計画延長	整備延長	整備率
・平成22年度	13,210m	11,672m	88.3%
・平成23年度	19,578m	15,055m	76.9%
・平成24年度	20,613m	15,885m	77.1%